

無断転用禁止

医薬部外品
対応

パワーヒアルロン酸

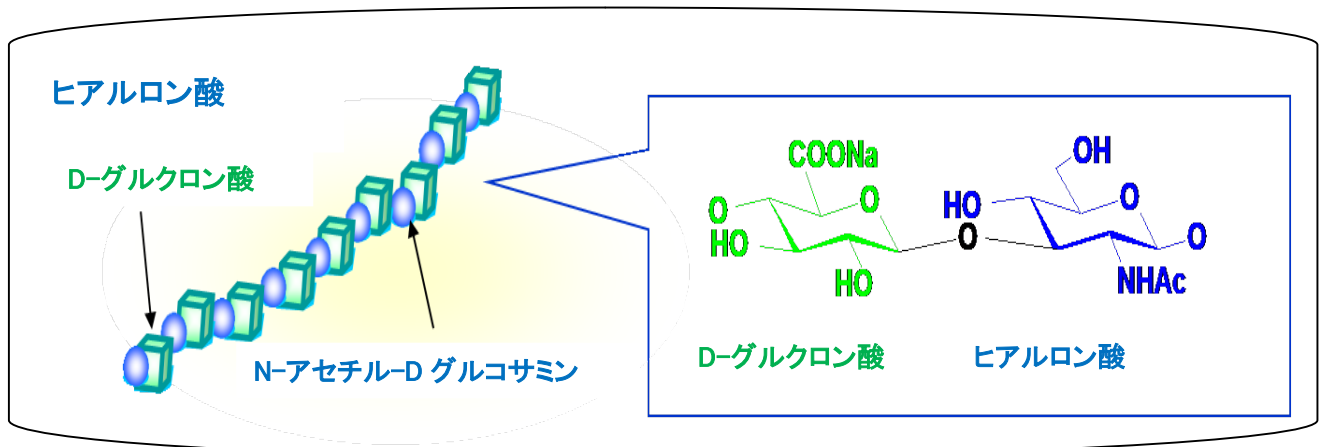
ヒアルロニダーゼ耐性ヒアルロン酸

【特長】 ヒアルロニダーゼで分解されないヒアルロン酸
長時間の保水力維持効果
従来のヒアルロン酸と100%代替可能

【コンセプト】

体の中で重要なはたらきをするヒアルロン酸は、真皮に多く含まれ、コラーゲンやコンドロイチン硫酸等などと共に皮膚に存在し、優れた保水能力(ヒアルロン酸1gに対し最大6リットル)を持っており、みずみずしいお肌の維持に欠かせない成分です。ヒアルロン酸は加齢と伴に減少する傾向にあり、水分保持能力が落ちていきます。その結果、肌のシワ、たるみが目立つようになります。

また、ヒアルロン酸が減少すると、紫外線や炎症などによって壊された細胞の修復機能が低下することが知られています。



パワーヒアルロン酸は従来のヒアルロン酸と比べて、ヒアルロニダーゼ耐性が非常に強いいため、酵素により低分子化されにくく、ヒアルロン酸本来の水分保持能力が長く維持できます。

また、従来のヒアルロン酸と相溶性や安定性に相違がないため、従来のヒアルロン酸と100%代替可能な化粧品用原料です。

【効果・効能】

■ パワーヒアルロン酸のヒアルロニダーゼに対する耐性

パワーヒアルロン酸のヒアルロニダーゼ耐性を牛精巢由来ヒアルロニダーゼを用いて調べました。

パワーヒアルロン酸および培養ヒアルロン酸 (*Streptococcus sp.*) の2%溶液に牛精巢由来ヒアルロニダーゼを約15万単位添加し、自動攪拌器を用いて攪拌しました。写真1に示すように攪拌15分後において培養ヒアルロン酸は粘度の著しい低下が認められたのに対して、**パワーヒアルロン酸は粘度低下が認められませんでした。**(写真1)

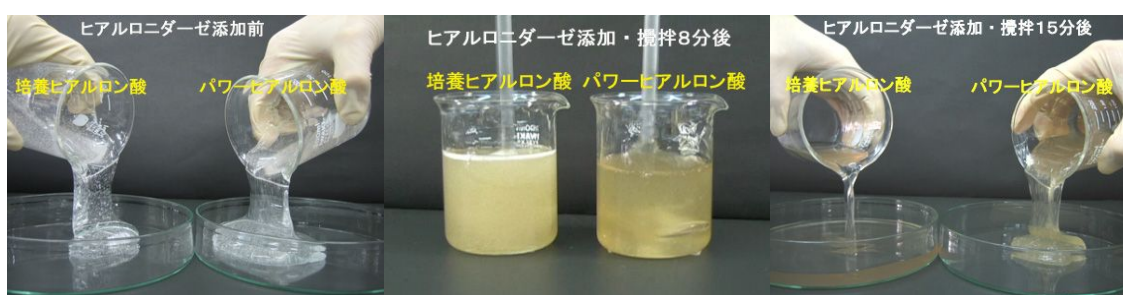


写真1

パワーヒアルロン酸100 μ gの水溶液に10 μ lの牛精巢由来ヒアルロニダーゼ(1000U/mg)を加え、37°C10時間反応、遠心処理し得られた反応液をキャピラリー電気泳動装置で分析しました。

キャピラリー電気泳動装置はベックマン社P/ACE5010型を用いpH8.5ホウ酸緩衝液(SDS含む)加圧法により200nmの吸収を検出し、酵素分解能を調べました。その結果、**パワーヒアルロン酸は分子量の変化も認められませんでした。**(図1)

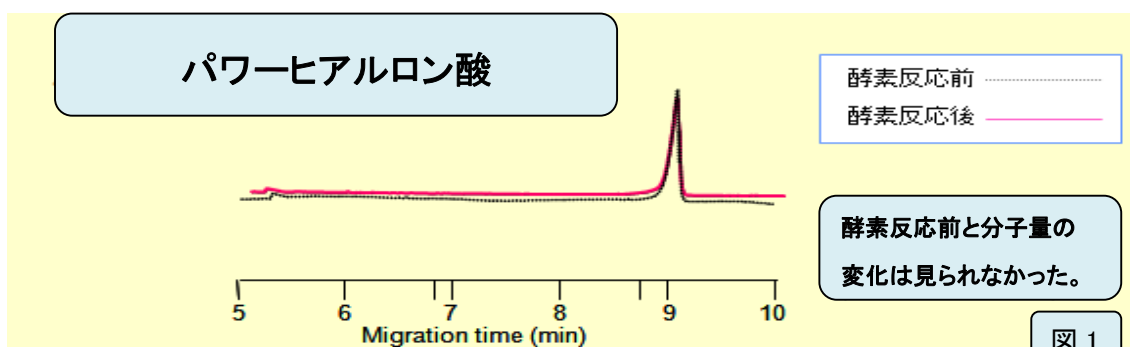


図1

【商品情報】

商品情報: パワーヒアルロン酸

表示名称: ヒアルロン酸 Na、水

医薬部外品表示名称: ヒアルロン酸ナトリウム液、精製水

製造元: 片倉チッカリン株式会社